

# 危機を乗り越える夢と戦略

講師 いすみ鉄道(株) 元代表取締役社長 鳥塚 亮氏

## 町村議会議員研修

10/17(木)

於吉見町「フレサよしみ」

研修会では、「危機を乗り越える夢と戦略 ローカル線と地域の活性化」という演題で、いすみ鉄道株式会社元代表取締役社長鳥塚亮氏による講演をお聞きしました。

内容は廃線の危機にあったローカル線で鉄道も地域も元気にした足跡の講演でした。お話は興味深いもので、地方創生の分かれ道は補助金に頼らず地域住民の協力が重要で、「自分たちのできることは自分たちでやる!」子供の役割もすっかりあり、地域に貢献しているのとこのでした。

その戦略は多岐にわたり、資金をあげずにアイデア勝負で電車をラッピング(装飾)し、ミニ電車と銘打って走らせることにより、テレビや雑誌で取り上げてもらい広告効果を高めて女性の観光客を増やし、またそのお客様によるSNS(ソーシャルネットワーク)などによる発信で、より一層の相乗効果が見込まれるとご講演くださいました。

現在は非日常体験が重要で、「普段の生活では見ることができない風景や体験を提供できるか」「フィルムコミッションで、映画やドラマの撮影ロケ地として使ってもらおう」「何も無いことを売りにするポスターを制作」等の詳細な話を伺いました。

そして何より力を入れてきたのが、思い出に残る原風景での体験で地元の若い人を育てることです。当町も同じ田舎町で、昔ながらの原風景も残っています。いすみ鉄道のように住民参加の地域貢献やイベントを含めて、「まだまだやれることはたくさんあるぞ」と考えさせられる研修会でした。



総務建設常任委員会

委員長 新井英行

## 広域圏

こういぎけん

### 第3回定例会

(9月30日(月)開催)

#### 平成30年度広域圏の歳入歳出決算を認定

歳入総額 42億9,968万4,139円  
歳出総額 40億7,958万4,056円

歳入の主なものは、各事業に対する構成市町の負担金30億6,772万1千円(71.35%)で、組合債3億4,910万円と合わせると全体の79.47%を占めます。その他のものでは、小山川クリーンセンターの処理手数料が約2億7,514万円、余剰電力売電料金が約1億1,855万円となっています。

歳出については、全般が主に組合各施設の管理運営経費ですが、臨時的な経費の主なものとして、新本庄分署庁舎建設工事、新本庄分署の災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車の購入等です。

また、予算に対する執行率は94.1%となっています。

歳出の主な内容は、下記のとおりです。

斎場費(こだま聖苑)	6,537万8,882円
余熱利用施設費(湯かつこ)	6,168万8,610円
利根グリーンセンター費	2億184万5,108円
小山川クリーンセンター費	8億7,995万3,435円
埋立処分地設備費	1,017万5,281円
消防費	21億1,540万504円
公債費	4億6,254万5,042円

#### 児玉郡市広域市町村圏組合手数料徴収条例の一部改正

地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正に伴い、消防法の規定に基づき危険物の貯蔵所設置の許可申請に対する審査手数料の改正を行うものです。

#### 令和元年度一般会計補正予算(第1号)

補正額 1億58万4千円  
補正後の額 39億7,841万4千円

主な内容は、職員の人事異動等に伴うもののほか、前年度繰越金を財政調整基金に積み立てを行う等の増によるものです。